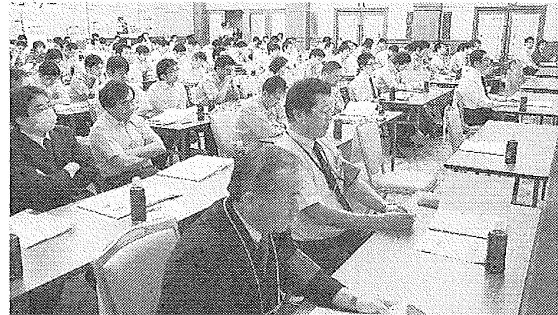


# GISに理解深める

前橋 技術研究会がセミナー



地理情報システムについて学んだセミナー

要 NPO全国GIS技術研究会は25日、前橋市古市町のウエルシティ前橋で「地理空間情報活用促進セミナーin前橋」を開いた。国土地理院関東地方測量部の松村正一部長らが講演、参加者約120人が地理情報システム（GIS）の現状や将来性について認識を深めた。

GISは電子的な地図の総称。具体的にはパソコンや携帯電話、カーナビゲーションなどの地図を指す。紙媒体と異なり、ユーザー同士が情報を共有できることが特徴。同会はGISの普及を目指して全国の測量企業など約150社で構成。県内は和泉測量、協和テクノ、スタッフ、ソッキテックが参加している。セミナーで松村部長は、基本測量に関する法改正の動きなどを紹介。「鮮度が良く高度な地図情報を表示するには、紙から電子への移行が不可欠」と強調した。

目 10人。申し込みまぎや

コシダカ	1552	¥79
ニッパンR	97	¥3
(大証ヘラクレス)		
JIN	135	△4
免疫生研	3040	¥120
(大証セントレックス)		
やすらぎ	285	¥14

# 県内外から約130人参加

## GIS全国セミナー開催

### NPO全国GIS技術研



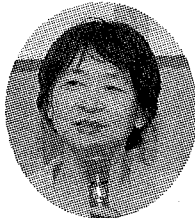
増沢副理事長

GISのセミナーで、県内外のコンサル企業のほか、行政職員ら約130人が駆けつけた。

は39社が参加している。全国縦断セミナーは8回目を迎え、今年はずで九州ブロックで開催しており、群馬県での開催が2ブロック目になる」と説明し、「GISはなかなか浸透しなかったが、現在では広く活用されるようになり、行政はもちろん業界にも認知してもら

えるようになってきた。昨年度は全国測量設計業協会連合会と技術提携し、全測連が全国的に実施したJPGISの講習会に当NPOも講師として招かれた。我々も業界の皆さんに認めてもらえ

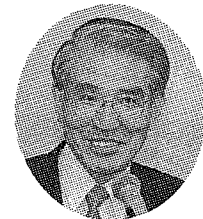
た。長い時間になるがしっかりと勉強してほしい」と呼びかけた。セミナーでは、国土地理院関東地方測量部の村正一部長から現在のGISの状況などについて説明があったほか、基調講演として群馬県土整備部部長の川瀬から「GISの活用報告があり、最後に基調講演として同NPOの顧問を務める奈良大学地理学部の確井照子教授から「国の基本計画と地理情報標準について」講演が行われた。確井氏は、第1回目の全国縦断セミナーから全ブロックで講師を務めており、冒頭「始めた頃比べて、GISもかなり進んだ印象がある。大きく見ると第2ステップに入ったのではな



確井教授

## 企業OBの役割講演

### 新現役スキルアップセミナー



下田氏

新現役チャレンジ支援群馬事務局が主催する

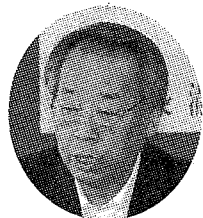
「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけた。中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。



多数の参加者が駆けつけた

## 矢場工区23年度完成へ

### 前橋長瀬線B.P 促進期成同盟会 通常総会開く



新井会長

前橋長瀬線バイパス促進期成同盟会(新井利明会長)藤岡市長は25日、平成21年度通常総会を藤岡市役所大会議室で開催した。地権者らも参加する中、今後の同バイパス整備促進要望を実施していく事業計画案などが承認された。

長は「前橋長瀬線バイパス事業は急ピッチで進んでいる。藤岡市にとって重要な動脈。皆様のご理解をいただき、少しでも早く進むことを願う」とあいさつした。

来賓祝辞で藤岡管内選出の新井雅博県議は「関係者、地権者に感謝の意を表し、24年度で確実に終わらせるために、県担当職員には誠意をもつて自分事のように用地交渉にあたってほしい」と要望。県土整備部の川瀬部長は「今年、藤岡2期工区L850mの用地買収にあたっては、24年度の開通を目指して頑張っていく」と話した。



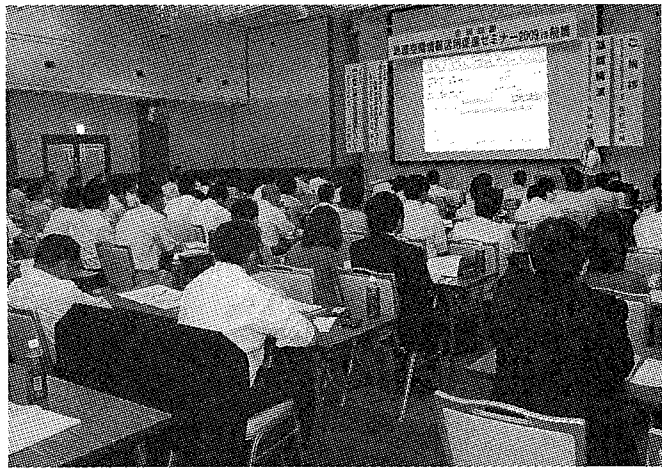
川瀬部長

議事では事業計画案など全議案が満場一致で承認された。役員改選も審議され、新井会長の続投が決まった。

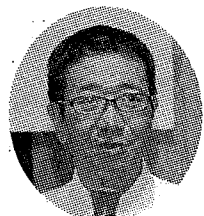
議事後、同バイパス事業の進捗状況について担当する藤岡土木事務所副所長福田和明所長が説明。福田所長は「今後も要望活動を行っていく

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけた。中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけた。中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。



本県を会場に開かれたセミナー



松村部長

前橋長瀬線バイパス促進期成同盟会(新井利明会長)藤岡市長は25日、平成21年度通常総会を藤岡市役所大会議室で開催した。地権者らも参加する中、今後の同バイパス整備促進要望を実施していく事業計画案などが承認された。

長は「前橋長瀬線バイパス事業は急ピッチで進んでいる。藤岡市にとって重要な動脈。皆様のご理解をいただき、少しでも早く進むことを願う」とあいさつした。

来賓祝辞で藤岡管内選出の新井雅博県議は「関係者、地権者に感謝の意を表し、24年度で確実に終わらせるために、県担当職員には誠意をもつて自分事のように用地交渉にあたってほしい」と要望。県土整備部の川瀬部長は「今年、藤岡2期工区L850mの用地買収にあたっては、24年度の開通を目指して頑張っていく」と話した。

議事では事業計画案など全議案が満場一致で承認された。役員改選も審議され、新井会長の続投が決まった。

議事後、同バイパス事業の進捗状況について担当する藤岡土木事務所副所長福田和明所長が説明。福田所長は「今後も要望活動を行っていく

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけた。中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけた。中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。

茨測協

## 小規模橋梁で研修会

### プロファ設計から講師招く



杉山所長

県都市計画課は、9月の屋外広告物美化月間の期間中、関係機関と連携し違反広告物の是正指導、周知活動および除去活動などを実施し快適な

## 野外広告物

### 9月キヤ